

1 本園の教育目標

「かがやくひとみ」
 ・いきいきと遊ぶ子供。
 ・自分も友達も大切にすること。
 ・豊かな感性をもち、表現すること。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

「つなげよう 笑顔と笑顔のまあるいわ」
 ～集団あそびを通して～
 ＊努力目標達成のための手立てを考えて実践する。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
①努力目標達成に向けて	A	一人ひとりの遊びの楽しみ方を丁寧に見取り、遊びの見通しを持って援助や環境構成を考え取組んだことで、どの子供も楽しめる遊びの展開ができた。
②友達同士の繋がり意識した教育・保育活動	B	日々の園生活の中で、年齢に応じた友達との意図的な関わりや自然な関わりを計画し、友達と一緒に過ごす楽しさを感じる実践を行うことができた。
③安全管理	B	災害時、緊急時にも落ち着いて行動がとれるよう、様々なケースや時間帯を具体的に考え、避難訓練を行い、災害に対応できるよう職員間で共有できた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	・子供の姿を丁寧に見取り、遊びの見通しを持って集団あそびを実践し、繋がりを意識した保育に取組めた。異年齢児との遊びの展開が今後の課題である。 ・各担任が研究保育を行ったり保育の動画視聴を行ったりすることが教員の資質の向上につながり、日々の教育・保育活動に生かすことができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
異年齢での交流	異年齢交流の長期的な計画と短期的な計画を立て、あこがれや、思いやりの気持ちが育つよう、意図的なかかわりや、自然な関わりについて工夫する。
自分も友達も大切にすることの子供の育成	まず、子供が自己肯定感を持てるような言葉かけや援助を行い、さらに、友達の良さに気づいたり刺激を受けたりして、友達を思う気持ちが育つよう、週案会議等で定期的に検証する。
環境整備	毎月安全点検を行い、不備な箇所については迅速に対応するとともに、子供が意欲的に遊びを進められるような環境について、週案会議等で定期的に検討し、実践していく。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である